

## 【22期生 近況報告】

### 3つの挑戦 アルバイト、剣道の部活、カナダ留学

#### 首都圏の国立大学3年生になった女子学生

年度が替わる前に、三つ新しい挑戦を始めました。一つ目はアルバイトを始めたことです。今までは、体力などに不安があり短期アルバイトしかやったことがありませんでした。しかし、同じ場所で長く働く経験を積みたい、将来エンターテインメントコンテンツを提供する仕事がしたいため直接人が喜ぶ現場に関わりたい、と考え遊園地でアルバイトを始めました。年代も性別も様々な人々と関わりあえる職場環境に満足しつつ、言葉の「伝え方」の重要さを実感しながら働いています。また、二つ目は新しく部活に入ったことです。高校時、少しだけ触れた剣道の楽しさを思い出し、大学の剣道部という形でまた始めました。内向的な性格のため新3年生として運動部に入るのは不安でしたが、親切にしてくださる部員の方々ののおかげで楽しく学ばせていただいています。三つめは大学の留学プログラムに申し込んだことです。まだ決定はしていませんが、8月の1か月間カナダに留学予定です。自分の英語力にはまだまだ自信が無いです。文化について英語で学べるというプログラムに魅力を感じ、勇気を出してみました。将来、世界を旅してまわり様々な人々が抱える「物語」についてインタビューしてみたいという夢があるので、その一歩でもあります。

自分には発達障害があり、その特性上、難しいことが多くあります。小さい頃から「出来ない」を強く自覚する場面が多かったため、今でも自分に自信がなく、何かを行動に移すことがいつも怖い。しかし、「完璧な自分を諦める勇気を、ダメな自分も愛せる生き方を」という歌詞に救われて、近頃は震える足でも前に出すことができています。そして、完璧ではないけど、自分が想定していたよりは、意外に私はやっていけていることに励まされています。未来の自分を疑いながら生きていく場面が多かったけれど、もっと信じてみても良いのかなと思いました。こんな小さな一歩ですが、確実に自分は成長していると感じられる日々、私は満足しています。

アルバイト、部活、留学に加え、新学期の講義が始まりました。気になっていたけれど、自信が無くて申し込めなかった、英語に関する講義や起業に関する講義に申し込みました。今年はこのような「挑戦」を引き続き大切にしたいと思っています。

## 多くの建築に触れ、知識と技術を身に付けたい

### 首都圏の私立大学3年生になった男子学生

2年生になり、定員30人のデザインコースに作品の選考と面接を経て入ることができ、周りに建築に関心をもった人が多いため、2年次は多くの刺激を受け、成長できた。このコースでは他のコースに比べ、課題が多く大変だが、プレゼンテーションや公表会があることによって力を身につけるには十分な場所になっている。一般科目も全て単位を取り、順調に学校生活を送っている。サークルや部活はアルバイトで忙しいため、行えていないが、大学外でやるフットサルでコロナ禍でも学科外に友人ができた。アルバイトは変わらず飲食店とサッカースクールのコーチをやっている。冬から新しいデリバリーも始めた。さらに忙しくなると思うが、3年次は学習面も頑張りたい。2年次は学習面でも生活面でも充実した1年となった。

3年次の目標は2年次の最後にあった公表会でいい結果が残せなかったため、3年次は多くの建築に触れ、知識と技術を身に付け、結果を残したいと思う。将来は大学で身に付けた力を活かし、意匠設計の仕事に就きたい。そして、今までにお世話になった人達に家を建てるという最終目標を叶えたい。そのために、残りの大学生活はこのままアルバイトと勉強を両立させ、貴団体の支援を無駄にしないように日々努力しようと考えている。

## 外国にルーツがある子供たちの学習を支援

### 首都圏の私立大学3年生になった女子学生

4セメスターでは学科開講の授業だけでなく、司書課程やICT関係の授業にも力を入れました。学科開講の授業は村上春樹や絵本の挿絵、現代の文壇の実情についての講義を履修しました。現代の文壇の実情についての授業で他者の言葉を正確に解釈し、求められている物を書く力が文学・実社会問わず不可欠だと学び、とてもためになりました。司書課程では資料分類の理論や図書館における情報サービス、パスファインダーの作成などの授業を履修しました。パスファインダーは特定の主題についての学習の道しるべとなる資料のことで、幅広い形態の資料を簡潔にまとめる必要がありました。制作には多くの労力を投じましたが、その分図書館サービスなどに対する理解を深めることができ、実り多き授業だったと思います。ICT関係の授業ではウェブページ作成、画像編集、動画作成の授業を履修しました。画像編集の授業は教授の方針によりグループワーク形式で行われ、他の学生と協力することの重要性も学ぶことができました。

課外活動では変わらず「TICC」というプロジェクトの中の「にこティー教室」に所属し、外国にルーツがある子供たちへの学習支援を行いました。小学校低学年くらいの子供は集中力が続かなかったり、やる気に波があったりというケースが多く、適度に遊びやお喋りを挟みながら学習を進めていくことに留意しました。中高生になると勉強が難しくなるうえ、地学や地理といった私が高校で履修しなかった分野の学習を支援することもあり、インターネットを活用しながら支援を行いました。今年度からは私が「にこティー教室」の企画リーダーになります。企画での活動がさらによいものになるよう、責任を持って取り組もうと思います。

来学期は対面授業が大幅に増加する予定です。俳句ワークショップやゲームデザイン、課外活動で興味を持った日本語教育の授業なども履修してみたいです。また就職活動も間もなく始まるので、そちらも頑張ろうと思います。

## サッカーをやりつつ、アルバイトや授業も全力で

### 首都圏の私立大学3年生になった男子学生

入学して2年が経過しました。1人暮らしをしながら、部活とアルバイトを両立させ、とてもハードで慣れない環境での生活でしたが、2年間を通してなんとか乗り切れました。

大学は4月からコロナの状況下の中でも対面授業がほとんどになってきました。いよいよ本来の大学生活が3年生になって始まりました。今までは対面授業がなく、遠隔授業での生活に慣れていたので、これからの生活はまた大きく変わって来ると考えられます。頑張って、また慣れて大学生活を今より充実したものとしていきたいです。

部活のサッカー部には2年下の後輩も入ってきました。より充実した部活動を行い、自分のサッカー人生にも悔いの残らないようにやっていきたいと考えています。何かひとつに集中するのは誰でもできるので、自分はサッカーをやりつつ、最低限の生活費を稼ぐアルバイトも、学校の授業も何事も全力でやって、どこの誰よりも充実した大学生活にしたいと思っています。

また昨年度の成人式の際、2年振りに施設を訪れ、成長した姿を当時いた職員に見せることが出来たので良かったです。今でも月に1回くらい連絡を入れているので、今までお世話になった人に卒業していい報告ができればいいなと考えています。今は辛いこともあったりするかもしれませんが、今やっていることを一生懸命やり、楽しさも忘れず、頑張っていきたいと思っています。

# 1人で抱え込まないことを目標に

## 関西の私立大学3年生になった女子学生

少しずつ暖かくなって参りましたが、いかがお過ごしでしょうか。私は大きな病気などを患うことなく生活を送っています。

まず生活面についてです。前期に比べると改善されたとは思いますが、良いとは言い難い状態でした。最低限のことだけをするというような生活になってしまいました。生活習慣も乱れていたのも、寝ずに学校に行くことも何度もありました。今年度はさらに改善すべく休みの間にいろいろと考えました。アルバイトのシフトとの組み方を変える必要があると思い、出勤数を減らして勤務時間を増やそうと試行錯誤している最中です。

次に学業面についてです。オンライン授業と対面授業のハイブリッド方式だったので、スケジュール管理が上手くいかず、登校日を間違えることがありました。課題も多く、アルバイトと両立することが出来ていなかったと感じています。今秋には実習も控えているので調整して、いい状態で臨めるようにしていきたいと思っています。

今春からは授業形態が全て対面になるので学生らしい学生生活を送れるかなとも思っています。ゼミ研究が始まるので興味があることを調べ、知識と経験を増やしたいと思っています。今まで自主学習に取り組む時間が作れなかったのも、少しでもその時間を作れるようにしていきたいです。ゼミ研究が始まると先生方もコミュニケーションが取りやすくなり、困り事があるときも相談しやすくなるかと思うので少し安心しています。3回生にはなりましたが、まだまだ分からないことが多いので、すぐ相談できるような環境があるのは本当に有り難いです。

今年は例年よりも頑張らなければいけない年になるので、気を引き締めていこうと思っています。分からないことがあっても人に聞かない癖があるので、1人で抱え込まないことを目標に持ち、学生生活を送りたいと思います。

## 教員免許の取得、教員採用試験合格に向け尽力

### 四国の私立大学3年生になった男子学生

2021年9月以降はピアリーダー養成の授業が始まり、生協委員会も新学期活動に入ったので委員会活動が活発になった。ピアリーダーの養成授業については初めて後輩ができたのでうまく後輩たちを指導できるか心配であったが、なんとかなったと感じている。3月の養成研修では企画をしてやりきることができたので、自分の成長にもつながりよい経験ができた。生協委員会に関しては対

面・WEBでの入学準備説明会や新歓企画があり特に3月が忙しかった。新歓企画では新入生が楽しめるようなゲームの内容を考えたり、実際に新入生の前に立ってゲームの説明をしたりもした。また2回生ということで後輩を引っ張っていきながらやっていたのでプレッシャーも感じたし、後輩たちをまとめるのも大変だったが、新入生のために様々なことができて満足している。WEBでの説明会では司会をやらせてもらったりして普段できないようなことが経験できた。

部活動においては今年1月から練習日を増やしたので、体力的にきつくなることもあるが、確実に実力や技術の向上がみられた。コロナウイルスの影響で練習や試合が制限されることもあったが、直近の大会で一勝するなど少しずつではあるが結果に変化が見えてきている。これからも頑張って技術の向上に努めたい。

教員養成のコースに入ることもできたので教員免許状の取得に向けても取るべき単位をしっかりと取って頑張っていきたい。教員採用試験の勉強についても生協の対策講座を受講するなどの形で勉強を始めている。教員免許の取得、教員採用試験合格に向けて今年は勉強に時間を多く割いていく考えだ。教員採用試験まで約一年ほどなので単位取得や卒業研究のテーマ決めなどいろいろなことがあるが、しっかりと勉強時間を確保して努力をし続ける1年間にしてい

※3人（男性1人、女性2人）が通学していた学校を中退するなどして奨学生を辞退しました。